

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年7月25日

GXプラットフォーム「エコのば」を活用した地域事業者のGX推進支援について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、GX 関連スタートアップである株式会社テックシンカー（代表取締役 洪 偉豪）と連携し、同社が運営する、地域密着型 GX プラットフォーム「エコのば」を地域事業者に紹介する取り組みを7月25日より開始しますので、お知らせいたします。

本取り組みは、当行取引先の地域事業者さまへ GX 取り組み支援の一環として、「エコのば」を通じた GX リテラシーの向上や「エコのば」への参画によるビジネスチャンスの創出等、「攻めのGX」への転換を支援することを目指すものです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、今後も地域事業者の SDG s や脱炭素経営に向けた取り組みへの課題解決支援を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 本取り組みの背景

昨今、サプライチェーン全体の脱炭素化のため、中小企業への排出量可視化やカーボンニュートラルの協力要請が強まっており、GX に向けた動きが徐々に顕在化してきています。一方で、中小企業が GX の取り組みを進める上で、対応方法や他社事例などの情報収集が課題の一つに挙げられることから、「エコのば」の活用が地域事業者の GX 推進に有効と考え、紹介活動を開始いたします。なお、本取り組みは、当行主催の新事業協創プログラム『Nexus Bridge 2024』の採択アイデア*で、サービスの創出に向け当行と同社が協業・連携したものです。

[※プレスリリース…新事業協創プログラム「Nexus Bridge2024」の選定結果について](#)

2. GXプラットフォーム「エコのば」の概要

「エコのば」は、GX 推進の3ステップ「知る・行動する・攻める」を軸に、地域事業者の「GX への理解」を進め、「攻めのGX」への転換を促し、地域全体での GX 推進を加速させるプラットフォームです。主な特徴と提供価値は以下のとおりです。

知る	行動する	攻める
政策動向、補助金情報、地域 GX ニュース、セミナー開催情報、GX 推進事例などの情報をタイムリーに提供します。	GX 推進相談窓口を通じて、GX に関する助言と実行支援を提供します。また、GX 関連製品・サービスの提供機会(マーケットプレイス)を創出し、地域経済の循環と活性化を促進します。	AI や DX を活用し、GX の推進を効率的・包括的に支援するとともに、省エネ・創エネによるクレジット創出も支援します。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

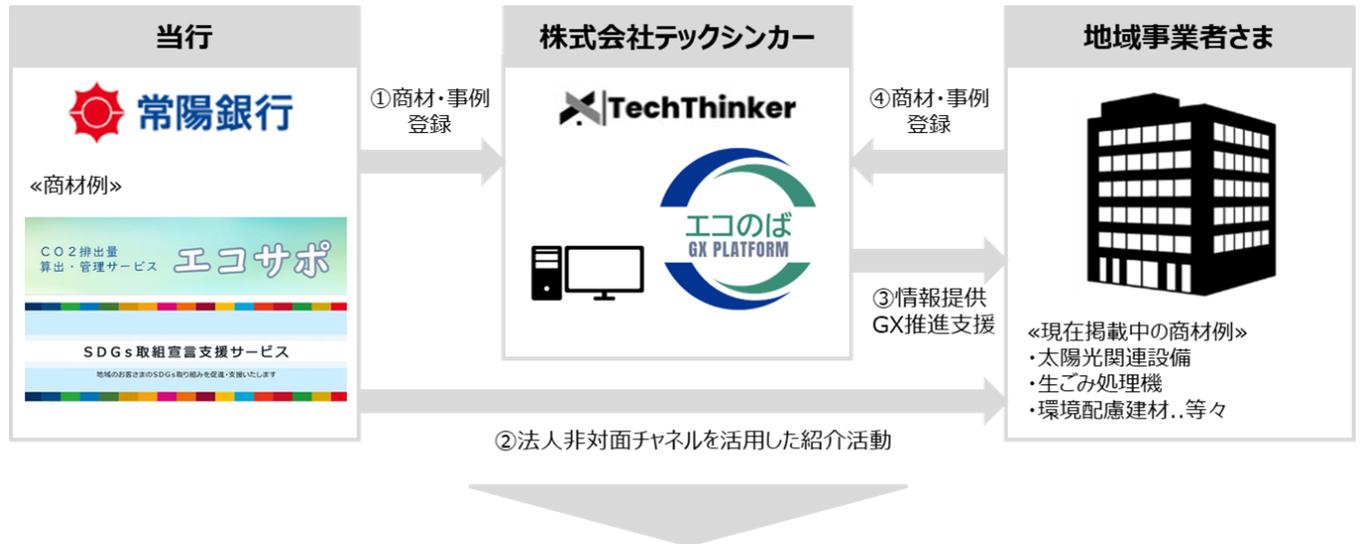
常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

3. 「エコのば」を通じたGX推進スキーム

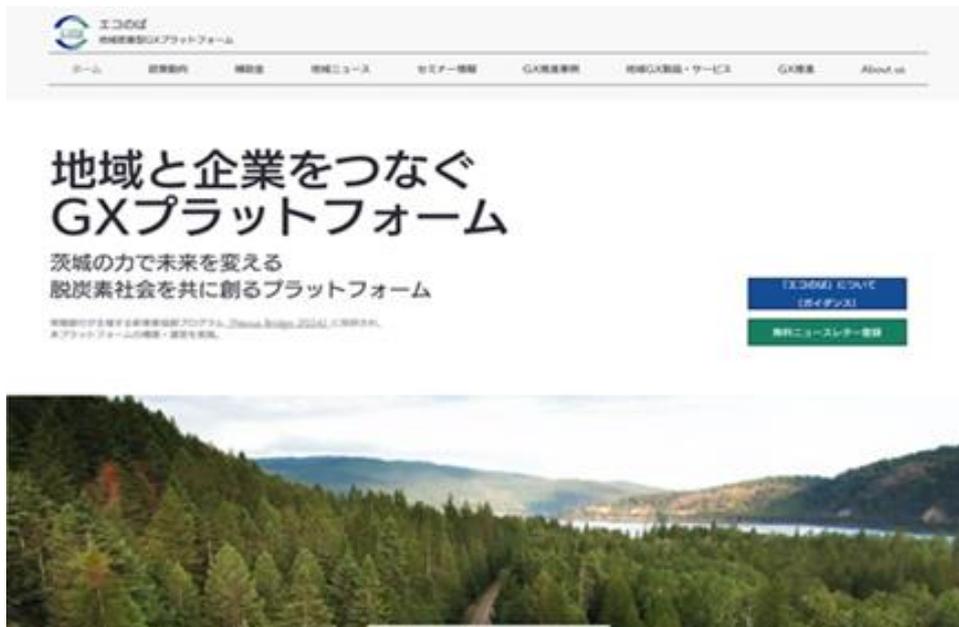
当行は、「エコのば」を通じて、地域事業者の皆様プラットフォーム利用や参画を促進することで、地域全体のGX取り組みを支援いたします。



脱炭素をチャンスと捉えた「攻めのGX」への転換を目指します。

4. 「エコのば」ウェブサイト

▶エコのば：<https://www.offemission-econoba.com/>



<株式会社テックシンカーの概要>

所在地	東京都品川区西五反田 2 丁目 19-12 五反田井門ビル
代表者	洪 偉豪
事業内容	脱炭素コンサルティング・ソリューションの提供
会社設立	2022 年 3 月

以上